

令和5年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	18	議席 番号	11	氏名	臼 井 由紀子 議員	1 / 1
発言項目				要 旨		答弁者
1	地域福祉について			<p>団塊の世代が全て後期高齢者になる2025年がすぐそこに来ている。市民が互助の精神を理解し納得して行動に移すには、生活支援体制整備事業における協議体での地域の多様な資源を生かした取組への検討について、さらなるスピード化を図らなければならないと考え、以下伺う。</p> <p>(1) 現在の第1層協議体及び第2層協議体の進捗状況はいかがか伺う。</p> <p>(2) 協議体及び生活支援コーディネーターについて、令和元年度から現在までの予算及び決算の状況を伺う。</p> <p>(3) 協議体の数についての増減及び構成メンバーに任期がないことでの、メリット・デメリットは何か伺う。</p> <p>(4) 協議体の存在意義について、市民へ周知する方法として工夫している点は何か伺う。</p> <p>(5) 協議体における地域包括支援センター及び富士宮市社会福祉協議会との連携とその方法について伺う。</p>		市 長 副 市 長 関係部長
2	地域コミュニティーの在り方について			<p>ウィズコロナ時代として、大きな祭りは市が率先して再開し始めているが、各自治会の班、町内会及び区単位での祭りはコロナ禍で中止した後、再開は困難となっている地域が多い。以下地域コミュニティーの現状と今後について伺う。</p> <p>(1) 地域の祭りや会合を中止するという連絡はあったが、再開するという連絡が不明瞭であるという市民の声を聞くが、現状はいかがか伺う。</p> <p>(2) コロナ禍ということを経由して中止または廃止した地域行事という捉え方なのか、人口減少による地域行事の衰退と考えているのか伺う。</p> <p>(3) 地域コミュニティーを担う自治会の衰退とともに、その在り方が問われているが、今後の対策と方針はいかがか伺う。</p>		市 長 副 市 長 関係部長